

まだ定員に余裕があるため追加募集します！

平成26年度「世界自閉症啓発デー記念行事」

4月2日の「世界自閉症啓発デー」から、4月8日までの1週間は「発達障害啓発週間」です。

発達障害の方たちは、本人にあった適切な関わりや環境調整があれば、社会の中で豊かな才能を発揮することができます。そのため、私たちは、より多くの方々に発達障害のことを理解していただき、誰もが暮らしやすい共生社会をめざしていきたくて願っています。

日時：4月6日（日） 13:30～16:15

場所：北九州国際会議場 メインホール

入場料：無料（要申込）※詳細は裏面をご覧ください

主催：北九州市

会場で
モモマルくんが
待っています！



～第一部～

北九州市人権啓発映画

秋桜の咲く日

—コスモス—

完成試写会&制作者による対談

- 上映時間 34分
- 対談「秋桜の咲く日」で伝えたいこと

登壇 脚本家 山上 梨香氏

監督 高橋 浩氏

北九州市人権啓発映画制作に関する検討会議委員長

中島 俊介氏

俳優 大野 拓朗氏



◎お知らせ◎

俳優 大野拓朗さんが
対談に参加します！！



大野拓朗さん

～第二部～

音符と星布



♪ 開始時刻 15:00

♪ 上映時間 75分

♪ 主演 池脇 千鶴

市川 由衣

♪ 監督 井上 春生

♪ 発達障害監修 谷 晋二

第一部 「秋桜の咲く日」のストーリー

特別養護老人ホーム「向陽園」の主任介護士として働く大谷ちひろは、新しく入った介護士中嶋直也に期待するが、直也は空気の読めない発言をしたり、指示が伝わらなかったり、コミュニケーションが取りづらい。ちひろはストレスを感じながらも、直也を育てるべく奮闘する。

そんな中、直也が入居者の元大学教授、乾一成を連れて外出したところ、金山川で乾が倒れて意識不明になってしまう。知らせを受けて病院に駆けつけたちひろは、パニックを起こした直也に、介護士失格だと激しく叱責する。

翌日から直也は欠勤。直也の母が退職願を持って「向陽園」を訪れ、直也がアスペルガー症候群であることを告白する。いったん退職願を受理したものの、ちひろは直也をこのまま辞めさせていいものか悩む。そして、ちひろは直也が乾を金山川に連れていった理由を聞くため、入院中の乾を訪ねるのであった…。

(主演) 平山あや・大野拓朗・石橋蓮司

第二部 「音符と昆布」のストーリー

一見ごく普通の女の子に見えるけれど、大きな負い目を二つ抱える小暮もも。ひとつは母親がいないこと。そしてもうひとつは、嗅覚がないこと。「可能性は決してゼロじゃない」とフードコーディネーターとして働いている。普通の人よりも何倍も努力を重ねてなんとか生きのびてきたこれまでの人生。傷ついても、手当てしようなんて思わない。それは傷ではないと自分に言い聞かせて前へ進んできたのだ。

そんな彼女を襲った「マーズ・アタック」級の一大事が、意外にも彼女を大きく変えていく。突然訪ねてきた、生まれて初めて出会う実の姉・かりん。姉がいることすら知らなかったももは戸惑う。だけどさらに戸惑ったのが、まったく理解不能な「火星人」のようなお姉さんだということ。実は、かりんは自閉症のひとつのタイプである「アスペルガー症候群」なのだ。

コミュニケーションというキャッチボールが苦手、規則的なものに対して異常なまでに執着する……など社会で生きづらい障害を持つかりん。一方通行の関係に苛立ちと失望を繰り返しながらも、やがてももは、すべてを受け入れようと覚悟を決め、かりんをぎゅうっと抱きしめた。それは自分の負い目をも抱きしめるということ。ももはかりんのために、ある奇想天外な計画を思いつく。そのあたたかい想いが起こした奇跡とは？

申 込 方 法

必要事項をご記入の上、FAXまたは官製はがきにて下記申込先までお申込みください。

<必要事項> ①参加希望のすべての方のお名前（同時申込5名まで）、②年齢、③参加者所属、
④代表者氏名、⑤代表者電話番号、⑥代表者FAX番号、⑦代表者住所

<申込先・問い合わせ先> 北九州市発達障害者支援センター「つばさ」

〒802-0803 北九州市小倉南区春ヶ丘 10-2 北九州市立総合療育センター内

TEL/FAX：922-5523

(第一部についての問い合わせ先 北九州市人権推進センター人権文化推進課 TEL 562-5010)

定員 500 名に達した時点で応募を締め切ります